

授業科目名・形態	介護過程Ⅳ	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	山田 克宏	開講期	2年 後期	単位数 2

【授業の主題】

本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践の伴う課題解決の思考過程を学ぶ。介護過程とは、施設生活においても「その人らしい生活」の継続ができるように支援する仕組みである。ここでは、介護過程の構成要素等について学ぶとともにチームアプローチの必要性・重要性について学ぶ。

【到達目標】

- 1) 他の科目で学習した知識や技術を結合して、介護過程を展開する。
- 2) 介護計画を立案して適切な介護サービスの提供ができる能力を養うことを目的とする。
- 3) 在宅及び施設において、あらゆる事例に対応できるような実践力を身につける。

【授業計画・内容】

- 第 1回 介護過程の実践的展開
- 第 2回 入所施設における介護過程の展開の理解：情報収集とアセスメント①
- 第 3回 入所施設における介護過程の展開の理解：情報収集とアセスメント②
- 第 4回 入所施設における介護過程の展開の理解：生活支援の課題と目標のとらえ方①
- 第 5回 入所施設における介護過程の展開の理解：生活支援の課題と目標のとらえ方②
- 第 6回 入所施設における介護過程の展開の理解：計画の立案①
- 第 7回 入所施設における介護過程の展開の理解：計画の立案②
- 第 8回 入所施設における介護過程の展開の理解：介護過程の発表・役割演技①
- 第 9回 入所施設における介護過程の展開の理解：介護過程の発表・役割演技②
- 第10回 「事例」に基づいた介護過程の展開の理解①
- 第11回 「事例」に基づいた介護過程の展開の理解②
- 第12回 介護計画作成のプロセス①（計画）
- 第13回 介護計画作成のプロセス②（実施・評価）
- 第14回 介護計画作成のプロセス③（ケアカンファレンス）
- 第15回 各グループの発表、質疑応答

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

あらかじめ事例等をよく読み、どのような支援が必要なのか考えておくこと

【主な関連する科目】

介護総合演習，介護の基本

【教科書等】

介護過程（新・介護福祉士養成講座9 中央法規）

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

演習への取り組み（20%），レポート試験（80%）による総合判定。

【学生へのメッセージ】

事例から、どのような支援が求められるのかを思考し、介護実習Ⅱで実践できるようにしてほしい。